

鎌倉へいわ映画祭2026

2026.8.11 [火・祝] ~ 8.16 [日]



映画鑑賞料金(展示観覧料含む) チケット販売開始日

一律 500円 7.11 ±

鎌倉市川喜多映画記念館で毎年夏に「戦争と平和」をテーマにした特集上映、今回は《広島》《沖縄》2つの場所を持つ戦争体験とその記憶を描いた4作品を上映します。平和都市宣言が採択されている鎌倉市の平和事業「へいわの学校」の一環として、子どもから大人まで幅広い年代の皆さまとともに映画を通して「平和」を考える機会とします。

1

沖縄



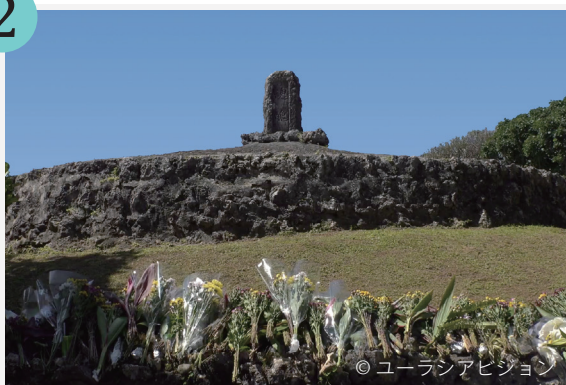
©2022 映画「島守の塔」製作委員会

島守の塔

2022年/カラー/131分/DCP

監督：五十嵐匠 原案：田村洋三
出演：萩原聖人、村上淳、吉岡里帆、池間夏海、香川京子
第二次世界大戦末期、日本における最大の地上戦となった沖縄戦を、県外から派遣された二人の官僚と沖縄の人々の視点から描いた作品。激戦の末終焉の地となった摩文仁の丘には沖縄県職員戦没者の慰霊塔「島守の塔」が立てられた。

2



©ユーランアビジョン

摩文仁 mabuni

2025年/カラー/97分/DCP

監督：新田義貴 ナレーター：知花くらら
沖縄戦で命を落とした兵士や民間人の慰霊碑が林立する摩文仁の丘。国内外から様々な人々が訪れるこの地では、犠牲者への慰霊、英霊の顕彰などそれぞれの思いが交錯している。人々の祈りを通して戦後80年の沖縄の現在を映し出すドキュメンタリー作品。

3

広島



©今村プロダクション/林原グループ

黒い雨

1989年/白黒/123分/DCP

監督：今村昌平 原作：井伏鱒二
出演：田中好子、北村和夫、市原悦子、原ひさ子、石田圭祐
1945年8月6日、広島への原爆投下によって被爆した叔父夫妻と、〈黒い雨〉を浴びて二次被爆を負った姪が、後遺症に苦しみながらも必死で生きようとする姿を描く。巨匠・今村監督が死ぬまでに映画化したいと挙げていた悲願の作品。

4



©2007「夕風の街 桜の国」製作委員会

夕風の街 桜の国

2007年/カラー/118分/35mm

監督：佐々部清 原作：こうの史代
出演：田中麗奈、麻生久美子、吉沢悠、中越典子、堺正章、藤村志保
広島出身の漫画家・こうの史代が、原爆投下から10・40・60年後の広島を舞台に、日常の中にひそむ戦争の記憶や原爆症の苦しみ、偏見を描き出し、数々の賞を受賞した代表作の映画化。本作から後の「この世界の片隅に」につながった。

8.11 [火・祝]

10:30

1 島守の塔

14:00

2 摩文仁 mabuni

8.12 [水]

10:30

3 黒い雨

14:00

4 夕風の街 桜の国 映画+談話室

8.13 [木]

10:30

3 黒い雨

14:00

1 島守の塔

8.14 [金]

10:30

4 夕風の街 桜の国

14:00

3 黒い雨

8.15 [土]

10:30

4 夕風の街 桜の国

14:00

3 黒い雨

8.16 [日]

10:30

1 摩文仁 mabuni

14:00

2 島守の塔

映画談話室 *8月12日(水)の『夕風の街 桜の国』上映後

スタッフが進行役となり、解説も盛り込みながら見終わったばかりの映画について皆さまと語り合う時間です。今回は鎌倉市主催の「へいわの学校修学旅行」に参加し、広島で戦争について学んだ小中学生の皆さんも加わり、広島で感じたことをお話しいただきます。

鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12 TEL:0467-23-2500

開館時間：9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館：月曜日(7月20日は開館)、7月21日(火)、6月16日(火)~6月19日(金)

主催：川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)

※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

※席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。

詳しくはお問合せください。



Kamakura City Kawakita Film Museum
https://kamakura-kawakita.org/

